

持続可能な社会

Our Common Future を読んで

OurCommon Future

地球の未来を守るために

- ・ "持続可能な発展(持続的開発)を実現するためにはどうすればいいのか"という研究、提言をまとめた報告書

ノルウェー首相

環境と開発に関する世界委員会(ブルンラント委員会)
(1984～1987) (日本の提案によって)



1987年4月に„Our Common Future,,
(ブルンラント・レポート)として提出

"持続可能な発展"とは何か?

持続: 保ち続けること(広辞苑 岩波書店)

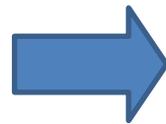
....何を?

地球?自然? → 半永久的に続く
動植物?
人類?人間活動?
人間の生活の質?

• どうして"持続可能な"という言葉が出てきたのか?

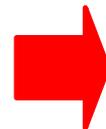
背景

- 科学の発達
- 人口の爆発的増加



地球環境に負荷
自己再生が不可能

人間活動 → 地球環境が破壊



人類の存続?
未来の(数十年後の)
人類の生活の質の低下?

"持続可能な発展"とは何か?

- "何を"持続可能にする必要があるのか?
....発展? 開発? 動植物? 人類? 生活の質? 人間社会? 市民の豊かさ?
 - "何を"そこに求めるのか? (何が求められているのか?)
地球の存続?
それぞれの地域でそれぞれの文化、価値観の中で精神的に豊かな生活を送るため
(物質的 — 最低限の欲求を満たす)
- ➡ "開発"、"発展"を持続可能にするのが目的ではなく!
"開発"を持続可能にするための"発展"、"開発"!

地球の未来を守るために

ブルンラント委員長の緒言から

- ・ ... "環境"とは私達の住むところであり、"開発"とはその中で私達の生活をよくするよう努力すること...
- ・ ... 学び合いとわかちあいを通して見通しは明るいという確信を持つに至りました...
- ・ ... まず初めに個々の人々に対して私達のメッセージを届けます。個人の幸福が全ての環境及び開発政策の究極の目標だからです。個人の中でも特に、若い人達に届けたいと思います。全世界の先生方には、この報告書を若者達に届けるという大切な役割があります。...
- ・ ... もし私達が現代の親や政策決定者にこの緊急のメッセージをうまく伝えられなければ、健全で質の高い環境を享受するという子供たちの基本的な権利を損なうこととなります。...

第二章: 持続可能な開発に向けて

持続可能な発展とは (定義) p66

将来の世代の欲求を満たす能力を損なうことなく、
現在の世代の欲求も満足させるような発展
=世代間倫理、(同世代での倫理 = 社会的正義)

2つの概念を含んでいる

- 何にもまして優先されるべき世界の貧しい人々にとって 不可欠なもの
- 現在及び将来世代の欲求を満たせるだけの環境能力の限界

持続的開発は、世界のすべての人々の基本的欲求を満たし、また世界のすべての人々により良い生活を送る機会与える p67

第二章: 持続可能な開発に向けて

"開発"とは?

経済と社会の前向きな変革を含む!

開発という用語はここでは、最も広い意味で用いられている。この用語は、第3世界の経済、社会変化の過程に言及するときに用いられる。しかし、環境と開発の統合は豊かな国も貧しい国も等しく、すべての国で必要とされている。(第一章 p61)

人間の欲求と願望を満たすことが開発の大きな目標である。開発途上国に住む膨大な数の人々が生きていくうえでの必要不可欠な条件- 食糧、衣類、住居、仕事- は現在不満足なものであり、… p67

持続可能な発展 (補助的な定義, **重要!!!**) p69, 70

= 現在、将来の人間の欲求と願望を満たす能力を高めるための変革である。

- つまり、天然資源の開発、投資の方向、技術開発の方向付け、制度の改革が相関係し合って変化していく過程

第二章: 持続可能な開発に向けて

II 公平性と共通の利益

- 一人一人が現実の世界の中で、共通の利益のために行動するためにはどうしたらよいのか?

(その答えは、教育、制度改革、法律の施行といったものの中にもある。)

しかし、資源の減少や環境問題の多くは、

経済的、政治的な力の差 (=貧富の差)から生ずる。 p 70

„貧困“とは

物やサービスがあるにも拘わらず、人々が生き延び、福祉を受けるのに必要なものが手に入らないという状態 (出典?)

貧困 = 環境破壊の原因、犠牲

私たちが改善しなければならない問題は、貧困に根ざし、また近視眼的方法で繁栄を追及することに根ざしている。(第一章 p48)

貧しい人々は、その日その日を生き延びるために環境資源を過剰に使用することを余儀なくされている。彼らは環境を損なうことによって、自分自身を一層貧しいものにしており、生存も一層困難に、不確実になっている。(第一章 p48)

持続可能な開発を実現するためには、最も基本的な欲求すら満たされていない言葉にも尽くせないような貧困状態の中で生活している膨大な人々の問題に取り組まなければならない。貧困のために、天然資源は無計画に消費され、それが環境にさらに圧力を加える。p74

第二章: 持続可能な開発に向けて

IV 結論 p91

広い意味において、持続可能な発展のための戦略は、人類相互の、そして人間の自然との間の調和を促進することを目ざすものである。・・・持続可能な発展を追求するためには、次のことが必要である。

- * 意思決定における効果的な市民参加を保証する政治体制。
- * 開発のための生態学的基盤を保全する義務を遵守する生産体系。
- * 自らの誤りを正すことのできる柔軟な行政体系。
(その他経済体制、社会体制、技術体系を挙げている)

第3章～第11 平和、安全保障、開発、環境まで

第3章から第10章までは
各項目ごとに詳しい分析と提言、解決策が示されている

例) まとめきれないのでここでは一部抜粋します

○第3章 国際経済の役割

国際経済取引が関係国すべてに有益なものとなるためには、二つの条件

- ・世界経済が依存している生態系の持続性の保障、
- ・経済取引の基盤が公平であること

が満たされなければならない。・・・ある種の支配関係の下での取引は長続きしない。 p94

○第6章 種と生態系

人口増加は多くの開発途上国において、野生生物を保護しようとする努力に対する大きな脅威である。 p189

種の保護は経済的観点からのみでは評価できない。美的、倫理的、文化的、科学的観点も保護の大きな根拠となる。 p191

○第7章 エネルギー

発展途上国の人口の70%が燃料として木材を使用しており、・・・平均一人当たり約700kgの乾燥木材を、いたる所で燃やしている。 p231

第12章 共同の行動に向けて

-組織と法制度の変革に関する提案

国レベルにおける組織の在り方、
国際的な組織の役割と変革の必要性について

・・・こうした自然の織りなす文様に自らの活動を溶け込ますことができないゆえに、人類は地球の自然系を根本的に変えつつある。
・・・我々は、逃れようのないこうした現実を直視し、これを管理していかなくてはならない。 p352

過去のパターンを打破する時がきた。開発と環境保護に対するこれまでのアプローチに従って社会と生態系の安定を維持しようとするれば、かえって不安定な状態となる。安全は、変化を通じて探求すべきである。 p353

まとめ

持続可能は発展（持続的開発）とは

個人の幸せ（基本的な欲求を満たすことが前提）を目標にした社会の構築を目指すものである。

それは

 社会の制度の変化の過程の中

人類の活動は地球の限りある生態系を基盤としているので、その生態系の範囲内で活動していくようにしなければならない。
環境破壊の大きな原因でもあり、帰結でもある貧困問題に取り組むことが重要課題である。

抜粋

「地球の未来を守るために（福武書店）」からの抜粋（ほんの一部）です。この他にもたくさんの方のとても重要なことが色々な視点から書かれています。今は絶版になっていること、日本語訳がよくないことを除けば今現在でもしっかりと通用する環境保護に関する政策提言の本として最高のものです。

少数民族や原住民の伝統的な生活様式を経済開発が破壊しているため、特別の配慮が必要である。 **p33**

人々の欲求を資源基盤にふさわしいものとするためには、地球上の天然資源基盤を保護・強化しなければならない。工業国の高い消費レベルを改め、開発途上国の消費量を増大させて生活水準を保ち、予想される人口増加に対処するためにも、政策の大転換が必要である。しかし、自然保護は、単に開発目標次第とすべきではない。自然保護は、人間以外の生物と我々の将来世代に対する道義的責任である。 **p82**

結局のところ、先進国であれ開発途上国であれ、人口問題は人間らしさの問題であって数の問題ではないのである。人間を単なる消費者とみなすことは誤解を与え、また公正ではない。人々の福祉と安全が開発の目的である。 **p126**

これらの社会は、人類を太古の起源と結びつける伝統的な知識と経験を広く集めた貯蔵庫とも言える。それが消滅することは、社会にとって大きな損失である。社会は、非常に複雑な生態系のシステムが維持可能なものとして管理する伝統的な技能から、多くのことを学べるからである。 **p143**